

東北Now_① 請戸漁港に船が戻ってきた



請戸は、すけさきた58号でご紹介した「田植え踊り」の伝わる地区です。浪江町では今春、原発事故の避難指示が一部を除き解除される見通しがたつたため、2月19日に福島市の笹谷東部仮設住宅で「仮設での最後の踊り」が披露されました。

しかしすぐにもの土地で祭礼を再開することは難しく、来年以降は災害公営住宅などの開催を検討することです(河北新報ほか)。

震災後、船は22キロ北の真野川漁港に避難。海底のがれき処理や試験操業で帰港に備えた。

「まだ俺の海ではないが漁師に戻る一歩だ」。
3代目漁師の高野一郎さん(69)の顔が少しほころんだ。(朝日新聞・本田雅和)

島第一原発から7キロ。福島県浪江町の請戸(うけど)漁港に25日、大漁旗を掲げて26隻の漁船が戻ってきた。東日本大震災の津波で港は壊滅し、原発事故で海は汚れた。あれから6年。港の復旧が進み、原発10キロ圏外の漁も3月中旬のコウナゴ漁から再開する。自分たちの漁場に自分たちの船で漁に出る。漁師たちのそんな日常が戻ってきた。

we support!

RQ
災害教育
センター

MONTHLY

復興支援
かわらばん

「東北に黒糖を送ろう! 大作戦しんぶん」改め
すけさきた

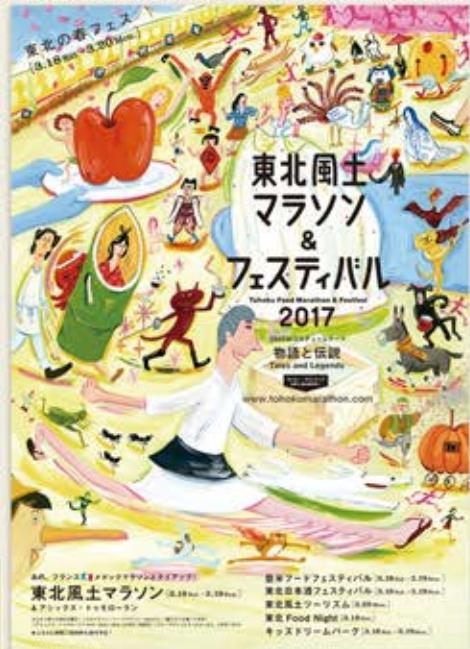
しん
ぶん

東北Now_② 東北風土マラソン &フェスティバル2017

東北各地の特産物グルメを「走りながら美味しく食べる」を提供してきた東北風土マラソン。今年は3月18日～20日の開催です。フル、ハーフ、リレーマラソンに加え、今回から新たな種目「5km」「親子ラン」も増設されました。

今年のコーステーマは「物語と伝説」。お楽しみの『ランメシ(補給食)』も20品目が出揃って準備万端です。

金のさんま、ふかひれ濃縮スープ、登米産牛サイコロステーキ、はつと汁、特製笹かまぼこ、荏胡麻チョコ、わかめ餃子、最上の早生そば、いぶりがっこ、伊豆沼産ブルーベリーチーズケーキ、初恋さくら(甘酒)、ほんのりピーチ、……



「すけさきた」とは宮城県登米市あたりの言葉で「ボランティアに来たよ」という意味である

MARCH
11
2017



MOK.
東北MEMORIES

〈MOK. 2016年東北風土マラソンレポ以来の登場!〉

震災を機に石垣からふるさと宮城県に戻り、すけさきたに東北復興の便りを寄せてくる、花と音楽を愛するタイ式マッサージセラピスト。「今年はマッサージセラピストとして参加します。ランナーさん走ってる間はフリータイムなのでフードブースを食べ歩きするつもりです。」

贈りご紹介

元気を出すために、楽しくなるために、みんなが少しずつ持ち寄つて盛り上げるマラソン大会。好天とご盛会をお祈りいたします。

自分にできる」とを自ら働くということ、改めて感じさせられたお話をしました。

あの時は、市民のみなさんが本当に輝いていました。というお話を聞いて頂いたり。

地元の消防団の方達も、自分達で捜索活動をしてここまで終わりました!

自衛隊車を通すためにビビっと他の車を停めて通してくれたり

あの時は自衛隊、警察ももちろんですがどの方達も市民自ら動いてくれていました。

震災時は、最前線で活躍されてたんですね」とお話をしたら

東日本大震災から6年が経過しました。被災に遭われた皆さま、「心よりお見舞い申し上げるとともに、被災地の一日も早い復興」とこれから日々の日々を祈りいたします。